

令和元年度 (平成31年度)

事業報告書



- 前 文
- ・ 法人運営
 - ・ 施設事業運営
 - ・ 地域との関連
 - ・ 会計
 - ・ 添付書類

社会福祉法人 正和会

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 正和会

★前文

きめ細かな保育と家庭的な雰囲気のある保育園、確かな保育理念と熱い情熱を持った保育園という評価が定着し、ひめゆり保育園・てんじん保育園ともには保護者から大変に高い評価を得るとともに、『保育園まるごとランキング』という保育園のランキングサイトにおいて、小平市の『保護者の評判の高い保育園』第1位と4位にランキングされるなど、高い評価を受けるようになっている。

16年目を迎えたひめゆり保育園の子育てひろば事業「わくわくひめゆり」は口コミや市報・パンフレット等によって地域に良く知れ渡るようになって、多くの参加者があり、参加をお断りするほどの人気を博している。

1. 法人運営

(1) 実施事業

当法人は、児童福祉法に基づき子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の幸福のために、保護者や地域社会と力を合わせ児童の福祉を積極的に増進し、併せて地域における全ての子育て家庭に対して育児・子育ての支援を行うため、次の社会福祉事業を行いました。

◆ 第二種社会福祉事業

1. 保育所 ひめゆり保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-6-1
定員等 0歳～2歳児 40名定員

2. 保育所 てんじん保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-11-26
定員等 0歳～5歳児 60名定員

(2) 理事会

令和元年度は5回の理事会を開催した。

- ・ 5月25日 平成30年度事業報告及び決算計算書類の承認、
平成30年度会計監査結果の報告、次期役員候補の承認
定時評議員会の招集、定款の一部変更の承認
- ・ 6月15日 理事長の選任
- ・ 9月14日 補正予算の承認、人権委員会委員選任の承認、

- ・ 12月14日 事業及び予算の執行状況報告、副食費の徴収方法
補正予算の承認、ひめゆり保育園長の選任人事、
てんじん保育園々規則の一部変更の承認、
東京都施設指導検査及び小平市法人監査実施の報告、
理事長の職務執行状況の報告、その他
- ・ 3月14日 補正予算の承認、令和2年度事業計画及び予算の承認、
経理規定の一部変更の承認
東京都施設指導検査及び小平市法人監査実施の結果報告

2. 施設事業運営

(1) ひめゆり保育園

ア、児童在籍数

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	12	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	106
1歳児	13	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
合計	40	38	38	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	466

イ、健康管理

1. 健康診断

年間計画に沿って定期健康診断 24 回、および 1 回の新入園児健康診断を実施した。

基本的に第 2、4、5 月曜日が実施日となっている。

0 歳児の保護者には、ひと月に 1 回は受けていただくよう促し、実施日の少ない月は予めお伝えすることとしている。

2. 歯科検診

6 月と 12 月の 2 回の健診を実施した。

検診の結果 うさぎ組：0 歳児 あひる組：1 歳児 きりん組：2 歳児

- ・ 0、1 歳児のむし歯保有者はいなかったが 2 歳児はむし歯のある児が 1 名いた。
口腔清掃状況も「良い」、「普通」でした。今後も引き続き毎日の園での仕上げ磨きと家庭でのケアを継続して行い口腔内の清潔が保てるように努める。
- ・ 0 歳児：仕上げ磨きの練習も 0 歳児では、最初、口を開けることを嫌がる児もいたが、一年を通して慣れ、終盤には全員嫌がることなくできた。
- ・ 1 歳児：1 名、反対咬合の診断あったが経過観察となっているため今後の検診で様子みていく必要あり。12 月の検診時には改善しているとのこと。
- ・ 2 歳児：むし歯の指摘は 6・12 月共に同じ児で 1 名みられたが、開口や反対咬合の指摘はなかった。

3. 腸内細菌検査

4 月・10 月の年 2 回全職員（パート、保育助手を含む）を対象に行った。

また、調理や調乳に携わる職員（0 歳児担任、フリー保育士、調理室、主任、看護師）については毎月検査を行った。

結果は年間を通して全職員陰性であった。

4. 職員検診

9～11月の3ヶ月間で「立川北口健診館」にて、全常勤職員対象に行なった。
生活習慣病健診対象者 4名、法定健診対象者 15名であった。
昨年度より全職員、血液検査と心電図の検査項目が追加となった。
雇入れ時健診も入職者全員に対して実施した。

5. ほけんだより

年間で16回の保健だよりを発行した。

6. 保健指導

4月：うさぎ組クラス懇談会にて「新入園児の健康管理について」資料を用いて説明した。
6月：歯科検診にて絵本の朗読実施した。「ぱくぱくたべたらはみがきだ！」と題して、虫歯予防・歯磨き指導を行った。
10月：きりん組クラス懇談会にて「卒園後の生活リズムについて」資料を用いて説明した。
12月：歯科検診にて、「はみがきまんとかんぱんまん」の紙芝居を朗読し、虫歯予防・歯磨き指導を行った。

7. ひめゆり広場事業での保健活動

ひめゆり広場事業は、「わくわくひめゆり」を1.5歳から就園前まで対象として、ひと月に1回ずつ実施した(3、4、8月は休み)。
尚、在園児に感染症が発生した場合、広場事業の実施について検討することとしており、今年度は、感染症の流行の拡大はなく、休みの月以外は実施出来た。

8. 内服薬と薬状況

【投薬に関する特記事項】

- ・熱性けいれんを起こした児が医師の指示と保護者の要望によりダイアアップ預かりとなり、発熱37.5℃以上で使用した。
- ・溶連菌感染症に罹患した児の薬を一定の期間預かりとなった。

9. 病欠欠席状況

(1) 病欠欠席延べ日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
うさぎ組	3	12	10	25	7	18	8	8	10	5	17	6	129
あひる組	17	46	12	20	10	11	15	11	13	22	46	17	240
きりん組	7	6	14	27	5	9	6	8	16	31	25	21	175

(2) 疾患別罹患人数

<総数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	16	39	23	15	13	15	23	10	32	10	36	23

<感染症など>

- ・RSウイルス感染症：2歳児で2月に多くみられた。
 - ・伝染性紅斑：1歳児で9月に流行した。
 - ・インフルエンザA：計2名の罹患患者。
 - ・インフルエンザB：計0名の罹患患者。
- 感染症については診断が下りた時点で、園内に情報を掲示し、注意喚起を行った。

10. 怪我等への対応

擦り傷、切り傷、打撲、鼻出血等、軽症のものは日常的にあったが、それぞれ、洗浄、止血、ワセリン

塗布、冷却等の対応を行った。

【受診件数】

きりん組 2件 (再診回) 1回(抜糸のため)

1 2. 食物アレルギー対応

2歳児女児1名。乳・卵アレルギーの診断。栄養士、担任と共に AL 面談を実施、アレジオン DS0.4g をお預かりし、アレルゲンと接触があった際に、内服させることとなった。6/12 よりパン解除となった。園でパン解除直後に顔面にアレルギー反応みられるが、その後は園ではアレルギー症状なし。

1歳児女児1名。ピーナツ、アーモンド、くるみアレルギーの診断。栄養士、担任と共に AL 面談を実施、薬の処方はない。緊急時の搬送先の病院が公立昭和病院となる。

0歳児、男児1名。卵アレルギーの診断。10月に再診し、結果により面談行う。10/26 面談予定となり、ニポラジン小児細粒 0.6% 0.2g、エピナスチン塩酸塩 Ds 小児用 1%0.4g をお預かりし、アレルゲンと接触があった際に、内服させることとなった。3/28 に面談実施し、園での対応は4月より卵の提供がなくなるためトレー対応なくなる旨を説明。しかし、完全解除ではないため、今後もアレルギー薬は預かることとなる。

1 3. 巡回相談

保育の中で、発達等に気になる児がいた際、年に4回5、7、10、1月に、あおぞら福祉センターより専門家が派遣され、午前中該当児の様子を見ていただき、対応についてカンファレンスをおこなった。

5、7、10月は2歳児2名の指導をお願いした。対応や保育に取り入れていくと良いことなどアドバイスを受けた。

ウ、栄養管理

栄養士が積極的に栄養指導を行うとともに、子どもたちの健康状態を把握しながらバランスの良い献立作成に取り組み、献立を元に給食を提供することが出来た。

献立には季節を感じられるよう、旬の食材を多く取り入れた。筍やそら豆などの食材の展示やとうもろこしの皮むき、オクラ、茄子の栽培、収穫等の体験を通じて、見て、触れて、味わう活動や、食材を媒体とした製作も行った。

食育の一環として、栄養素・食材の効能等をレシピ・おたより等を保護者対象に配布し、興味関心を持ってもらえるよう務めた。

離乳食

離乳食全般については、子どもひとりひとりの発達・喫食状況に合わせ、細かい対応を行った。期が上がる際には、保護者・担任・栄養士で離乳食面談を実施し、家庭・クラスと連携を図りながら、固さ・大きさ等調理形態に十分留意し、食事を提供することが出来た。

乳児食

アレルギーによる除去食の希望が3名、途中除去食解除もあったが、年間を通しトレーを使用する等、個別に対応を行った。

献立表に除去(または代替)内容を記載して保護者に配布し、同時に職員間でも情報の共有に努め、安全に食事提供を行った。

エ、保育内容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

カリキュラム会議は全職員が参加できるよう実施し、個々人の発達・成長を共有し共通理解の下に保育を行なうことが出来た。

オ、安全管理

園舎外壁について、塗装のはがれ等が出てきていたため、外壁の塗装の塗り直しを行った。また、固定遊具についても、外装のはがれやバネの耐用年数の問題から、塗装の直しやバネ交換などの対応を行った。

カ、職員の処遇

(1) 健康管理

腸内細菌検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、全ての職員が立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2) 職員会議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施した。ほかにクラス単位のミーティングを数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した。

(3) 研修報告

別紙『研修会参加一覧表』にあるように東社協、東京民保協などの保育団体が主催する研修を中心に多数の研修会に参加した。

また、新たに採用された職員も順次『上級救命講習』と『おもちゃインストラクター』を受講し、資格取得に努めた。

(4) 福利厚生

本年も福利厚生センターに加入して、個々の職員がセンターの事業を活用した。又、歓送迎会への補助などを行った。

(5) 地域社会との関連

子育てひろば『わくわくひめゆり』の計画、実施した。小さい乳児を対象とした『よちよちひめゆり』については、参加者数の減少から今年度はお休みとした。

また園庭開放は43回実施し、天候不良のため中止とした日は3日あった

ア、保育実習生の受け入れ

今年度はひめゆり保育園において、保育養成校からの保育園実習生を計3名受け入れを行なった。

イ、中学・高校生の職場体験・職業体験の受け入れ

今年度はひめゆり保育園において、小平市立小平第六中学校の生徒4名、小平第三中学校の生徒3名、西東京市立田無第一中学校の生徒2名、保谷中学校の生徒4名、大泉桜高等学校の生徒1名、鷺宮高等学校の生徒1名を職場体験として受け入れた。

(6) その他

令和元年11月12日に、8年ぶりとなる東京都施設指導検査が実施され、「運営管理」「保育内容」「会計経理」について実地調査を受けたが、その結果はいずれも大変に優良であり、いくつかの口頭での指導はあったものの文書による指摘はなしという結果となった。

これもすべて河野絹子園長の細やかな指導の成果であると考えられ、後任の古後園長へとこの保育運営を引き継いでいきたい。

(2) てんじん保育園

ア、児童在籍数

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
2歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
3歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
4歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
5歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
合計	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720

1・健康診断

毎月第1月曜日を健診日とした。

乳児健診は毎月行った。休んでしまった場合は、ひめゆり保育園で健診を実施した。

1歳児は0歳児とともに毎月健診を行った。

いるか組…5月7月9月11月1月

くじら組…6月8月10月12月2月

全園児、年2回以上の健診を行うことができた。

2・歯科検診

6月・12月と2回実施した。

未処置むし歯のある児が6月は5歳児に1名、12月は5歳児に3名いた。

3・視力測定

9月（5歳児）・11月（4歳児）・1月（3歳児）に測定を実施した。

4・腸内細菌検査

4月・10月の年2回全職員（パート、保育補助を含む）を対象に行った。

また、調理や調乳に携わる職員（0歳児担任、フリー、調理室、主任、看護師）については毎月検査を行った。結果は年間を通して「陰性」であった。

12月に調理職員4名はノロウイルスの検査も行った。結果は「陰性」であった。

5・職員健診

健康診断を10～11月に「立川北口健診館」「総合健診センターヘルチェック」にて行なった。

生活習慣病健診対象は8名。法定健診対象者（35歳以下）は9名。

がん検診なども受けられるように設定したことで、各職員が自分の健康に関心をもてたのではないかと思う。

入職した職員については、雇入れ時の健診を行った。

6・保健だより

年間で14回の保健だよりを発行した。

7・保健指導

4月 爪の話（くじら組）

6月 歯磨き指導（3歳児・くじら組） プールのお約束（いるか・くじら組）

- 9月 食べたものはどうなるの？排便の後始末（4歳児）
- 11月 うがい指導（いるか組） うがい・手洗い指導（くじら組）
- 12月 手洗い指導（いるか組） 歯磨き指導（4歳児）
- 1月 鼻のかみ方（3・4歳児） 咳エチケット（4・5歳児）
- 2月 歯磨き指導（3歳児）
- 3月 うんちの話（3歳児） 就学に向けて（5歳児）

職員に対して

- 7月 熱性けいれん対応について

8・内服薬と薬状況

熱性けいれん発症予防対応でタッグ座薬の預かりが1件あった。

5月に4歳児で右頬部蜂窩織炎と診断され、抗生剤の与薬が1件あった。

9・巡回相談

5月・7月・10月・1月の計4回、あおぞら福祉センターより先生に来て頂き、気になる行動のある児の対応について話し合いを行い、アドバイスを頂いた。

10・病気・怪我欠席状況

<入院加療：1件>

- ・2歳児：5月、呼吸状態悪化のため多摩北部医療センターにて入院加療。

<怪我・通院：7件>

- ・2歳児：5月、七小東公園の滑り台で転倒し、左下口唇内側に裂傷ができる。
鈴木歯科医院を受診し、歯の打撲もなく経過観察となる。
- ・2歳児：5月、登園直後に左腕を痛がる。山之内整形外科を受診し、左肘内障と診断され整復される。
- ・4歳児：6月、園庭のミッキーの遊具を激しく揺らし、ハンドルに前歯をぶつける。前歯の歯茎から出血、腫脹軽度あり。鈴木歯科医院を受診し、歯の脱臼または折れている可能性があるため経過観察となる。以降、歯の変色等もなく経過している。
- ・0歳児：11月、室内の木の柵に片足を乗せていて、そのまま後ろに転倒し、柵が覆いかぶさってしまい、左額、右こめかみに腫脹、右目尻に発赤あり。
あかしや脳神経外科を受診し、嘔吐もないため経過観察となる。
- ・1歳児：11月、保育室内で転倒し、プラスチックの玩具で後頭部を打つ。右後頭部に腫脹、約3cmの発赤あり。あかしや脳神経外科を受診し、嘔吐もないため経過観察となる。
- ・0歳児：12月、他児の玩具をとろうとして、眉間から左眉上、左瞼、左目頭横を引っかかれる。幸クリニックを受診し、患部を消毒、ゲンタシン軟膏を塗布、絆創膏を貼付される。1日1回、ゲンタマイシン軟膏を塗布するように指示あり。
その後、傷トラブルなく完治する。
- ・3歳児：1月、青葉台公園で大きな石を持って歩行中に、左手親指の爪から出血しているのに気づく。
爪が半分浮いていて、出血あり。親指の指腹が白っぽくなっている。花小金井西野整形外科を受診し、骨には異常なし。医療用傷テープ（プラスモイスト）を貼付し経過観察となる。

<感染症まとめ>

- ・インフルエンザの予防接種は、全園児60名中41名、正規職員は全員実施していた。
罹患数は、A型4名、B型1名の計5名で、保護者が罹った後に、子どもが罹るという家族内感染が多かった。
- ・新型コロナウイルス感染症対策で、標準感染予防対策及び、3月からいるか・くじら組の午睡明けの検温、職員の出勤前の検温、体調チェックを開始した。園児、職員ともに37.5℃以上の発熱があった場合には、症状が改善してから24時間は家庭で経過観察をして頂くことを徹底し、予防に努めた。

ウ、栄養管理

各クラス栄養士が栄養指導を行う、離乳食についても細やかな対応を行った。

離乳食については、段階ごとに面談を行い、子ども1人1人に合わせた細やかな栄養指導を行う。また、今年度はアレルギーを疑われる離乳食児童がいたため、初期食から個別に対応している。

今年度入園・在園の児童にはアレルギー対応児が居なかった為、離乳食以外のアレルギー対応は無しである。

・喫食人数(離乳食など)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
離乳食(初期食)	0	1	1									
離乳食(中期食)	5	2	0	1								
離乳食(後期食)	0	3	5	0	1	1						
完了食	54	54	54	59	59	59	60	60	60	60	60	60

※離乳食面談は各期へ上がるごとにいき、保護者や保育士と話し合い、子供の状況に沿って進めた。

・食育について

以下の通りに行った。

	対象クラス	内容	ねらい
4月	いるか	竹の子皮むき	旬の食材を知る 食材の形状を知る
	くじら	味噌作り	豆の変化を知る 日本古来のスローフードを学ぶ ※出来あがた味噌は餅つきの豚汁で使用予定
5月	くじら	ご飯炊き (以後、混ぜご飯以外)	毎日食べるご飯の炊き方を学び、生活力につなげる 炊き立てのご飯の香りを感じ、出来立ての美味しさを知る
	めだか	そら豆に触れる	調理前の野菜の形と大きさを見て確かめる 野菜の感触や匂いを経験し、見慣れない野菜に親しみを持つ
	いるか	そら豆さや剥き	野菜の生え方を見える 他の豆と大きさや手触りを比べてみる
6月	いるか	スプーン指導	スプーンの正しい持ち方を知り、持てるようになる
	くじら	配膳の仕方、はし指導	自分でご飯を準備できるようになる 箸を正しく持てるようになる
	全園児	じゃが芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたじゃが芋を洗い、芋の表面の様子を知る
7月	くじら	調理体験(じゃが)	収穫から自分の口に入るまでの作業工程を体験し、食べ物

8月		芋) じゃが芋パイ作り	を大切に扱う心を育む。調理する事を楽しむ ホットプレートの使い方を知る
	いるか くじら	とうもろこし皮むき (日には別々で行 う)	旬の食材を知る 食材の形状を知る
	いるか くじら	講話(防災食につい て)	防災食とは何か、普段の食事とはどのような違いがあるかを知 る
	全園児 職員	防災食を食べる	普段の食事との違いを知る 実際に食べる事で、災害にあった時の食事の様子はどんな 感じか経験する
9月			
10 月	全園児	さつま芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたさつま芋を洗い、芋の表面の様子を知る
	くじら	調理保育(さつま芋 もち)	収穫から自分の口に入るまでの作業工程を体験し、食べ物 を大切に扱う心を育み調理する事を楽しむ ホットプレートの危険性を知り、それをふまえ五歳児はホットプ レート を 使いおやつを作る
11 月	いるか・くじ ら	根菜を知ろう	じゃが芋・さつま芋堀の経験より、様々な根菜について資料を もとに 知り、給食の根菜カレーを味わう
12 月	くじら	出汁について 手作り味噌開封	出汁が出る食材にはどんなものがあるか知る 味噌の出来上りを確認 味噌の菌について知る
1月	いるか・くじ ら	観察(七草)	七草がゆに入っている七草を知り、食材の形状も知る (セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシ ロ)
	くじら	観察(給食時)	柚の香りを知る
	くじら	調理体験(おにぎり)	自分の作りたいおにぎりを握る
2月	くじら	調理体験(納豆丼)	カップの中で粘りが出るまで、上手に混ぜる おやつを完成させる
3月	くじら	卒園児リクエストメ ニュー	今までの給食を思い起こしメニューを考える

・他にも、くじら組で野菜(枝豆、胡瓜、プチトマト)を栽培し、収穫した都度、くじら組にのみ提供

・行事食

保育園の行事や日本の伝統行事に合わせて、行事食を提供した。

4月:たけのこご飯

5月：子供の日
6月：小平夏野菜カレー、目の日（小平産ブルーベリー使用）
7月：七夕
9月：お彼岸（おはぎ）
11月：冬至（かぼちゃ）
12月：クリスマス

1月：お正月料理
2月：節分
3月：ひな祭り、お楽しみメニュー、お散歩給食、お彼岸（ぼたもち）

エ、保 育 内 容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

オ、安 全 管 理

てんじん保育園の園庭の照明柱に園児が頭をぶつけてケガする事故があったので、防護ゴムを取り付けた。

キ、職 員 の 処 遇

(1) 健 康 管 理

腸内細菌検査、寄生虫検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、35歳以上は立川北口健診館において生活習慣病検診を受診、それ以外の職員も立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2) 職 員 会 議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施した。ほかにクラス単位のミーティングを数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した。

(3) 研 修 報 告

東社協、東京民保協などの保育団体が主催する研修を中心に多数の研修会に参加す

るとともに、キャリアアップ研修にも5名で述べ6回の受講をし、保育技術と知識の向上を図った。

また、新たに採用された職員も順次『上級救命講習』を受講すると共に、新たに1名が『おもちゃインストラクター』の資格講習を受講し認定を得た。

(4) 福 利 厚 生

本年も福利厚生センターに加入して、個々の職員がセンターの事業を活用するとともに、職員厚生委員の企画による『リアル脱出ゲーム大会』を行って職員の親睦を深めた。また、歓送迎会への補助などを行った。

(5) 地域社会との連携

今年も小平第三中学校からの依頼で職業体験を実施したが、小平第六中学校からの保育体験は、新型コロナウイルス感染拡大のために急遽取りやめとなった。

3, 会 計

橋詰会計事務所による会計指導のもと、公正・透明な会計業務を心掛けた。別紙決算書の通りである。

4, 添 付 書 類

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、